

JIS

UDC 621.753.1 : 621.73.016.2

B 0415

鋼の熱間型鍛造品公差 (ハンマ及びプレス加工)

JIS B 0415-1975

(1999 確認)

(2005 確認)

昭和50年9月1日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

機械要素部会 鋳鍛造普通公差専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	松浦 佑次	早稲田大学
	逢坂 國一	工業技術院標準部
	五十嵐 義男	通商産業省機械情報産業局
	林 杵雄	神奈川大学
	宮川 松男	東京大学
	吉田 道雄	財団法人鍛造技術研究所
	渡辺 昭俊	横浜国立大学
	伊藤 弘美	日立金属株式会社
	笠井 辰也	新日本鍛工株式会社
	岸 孝	株式会社東京鍛工所
	鈴木 一雄	岡田工業株式会社
	山田 忠幸	株式会社東京精鍛工所
	山本 洋	三菱製鋼株式会社
	足立 公夫	日産自動車株式会社
	五月女 郁雄	社団法人日本産業機械工業会
	白村 浩邦	株式会社小松製作所
	田中 康博	久保田鉄工株式会社
	中村 元樹	石川島芝浦機械株式会社
	西村 開吉	三菱重工業株式会社
(専門委員)	田島 政男	工業技術院標準部
(事務局)	大磯 義和	工業技術院標準部機械規格課

主務大臣：通商産業大臣 制定：昭和 50.9.1 確認：平成 11.2.20

官報公示：平成 11.2.22

原案作成協力者：全日本鍛造工業会

審議部会：日本工業標準調査会 機械要素部会（部会長 林 杵雄）

審議専門委員会：鋳鍛造普通公差専門委員会（委員長 松浦 佑次）

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部標準業務課 産業基盤標準化推進室（☎100-8921 東京都千代田区霞が関1丁目3-1）にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

鋼の熱間型鍛造品公差
(ハンマ及びプレス加工)

B 0415-1975
(1999 確認)

Dimensional Tolerance for Steel Die Forgings
(Hammer and Press Forging)

1. 適用範囲 この規格は、ハンマ及びプレスによる炭素鋼と合金鋼の熱間型鍛造品⁽¹⁾(以下、鍛造品という。)の厚さ、長さ・幅・高さ、心間寸法、丸み半径、抜けこう配、型ずれ、そり、深穴の偏り、ばり残り・ばりかじり、ばりかえり、エゼクタ跡、表面はだあれ、せん断端部の変形及び素材部の局部的変形の寸法公差及び許容差について規定する。

注⁽¹⁾ 納入時の最終製品をいう。

2. 用語の意味 この規格で用いる用語の意味は、次のとおりとする。

(1) 厚さ 型割面に垂直な断面の厚さ(図1参照)。

(2) 長さ・幅・高さ 長さ・幅は金型の型割面に平行か、又は実用上差し支えない程度に平行な長さ・幅。高さは同一型割面に垂直な深さ方向の高さ(図1～図4参照)。

図1 寸法の表示

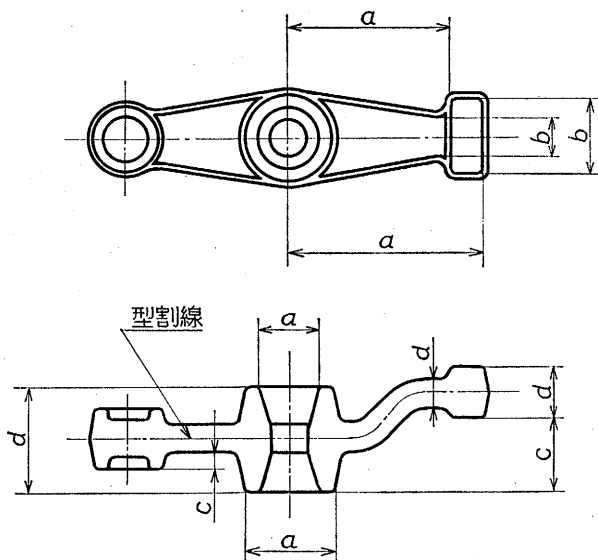
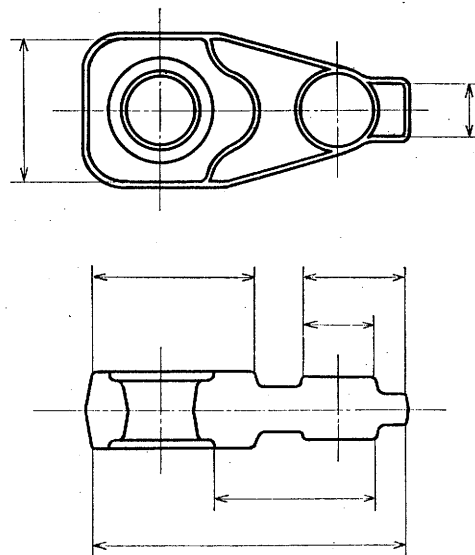


図2 外側の面の間の長さ・幅の寸法



a: 長さ
b: 幅
c: 高さ
d: 厚さ